

武漢熱線

大分市武漢事務所
全 淑 麗

Wu-han Hot Line

武漢の都市イメージ宣伝について

武漢市は、中国中部に位置する湖北省の省都であり、政治、経済及び文化の中心都市です。世界で3番目の大河である長江(揚子江)と長江の最大の支流である漢水が武漢で合流しており、この2本の川により、武漢市は、漢口、漢陽、武昌の3つの地域に分かれています。荆楚文化を継承し、数百年にわたり中国華中地域の商業の中心として栄えてきました。また、武漢で起きた武昌蜂起は辛亥革命の幕開けとなりました。このように、武漢市は山あり湖ありの風光明媚な、悠久の歴史を持つ商業文化都市として発展してきました。

○近代的な都市イメージを構築することの重要性

時代の進展とともに、近代都市は主要な生産力を有し、経済と社会活動の中心となることが求められています。グローバル化と都市の近代化に伴い、都市間競争は、国家間競争と産業間の競争に続き、世界的に関心が集まっています。そこで都市間競争を勝ち抜くためには、都市のイメージがますます注目されています。

改革開放以後、沿海大発展戦略により、中国の経済発展は沿海地域が牽引してきました。そのため内陸部にある武漢市の世界的な知名度は「大武漢」と言われた時代ほど、高くはありません。

また、現在、都市化の発展と交通網等の高速化により、都市が発展するためには、都市イメージがたいへん重要視されています。都市のイメージアップを図ることで、市民の責任感と連帯感を高め、ひいては、優秀な人材が集まり、より多くの企業が誘致できるなど、都市間競争力を高めることにつながります。

○武漢市の「都市イメージ案」の公募

2012年9月から、武漢市政府は広報部署、マスコミ部門と連携し、武漢市の都市イメージの「スローガン」と「ロゴマーク」の募集活動を開始しました。

都市のスローガンとロゴマークは、都市のシンボルである彫刻や建築物と同じくその都市イメージを代表するものとなります。現在、武漢市は建設ラッシュであり、発展著しく、大きく変化する時代を迎えています。このような時に、リーダーシップを発揮し、さらに発展する、活気あふれる武漢市のイメージを、国内外の人にも分かりやすく表現したスローガンやロゴマークを募集しました。

その結果、スローガン約500件、ロゴマーク約1000件の応募があり、応募者は武漢市民のみではなく、中国国内、海外からも応募がありました。募集期間終了後、専門家による審査が行われ、その後、マス

コミを通じて、市民による直接投票により決定されま

○入選したスローガンとロゴマークの紹介



専門家の審査により、スローガンとロゴマークのトップ3が選ばれ、8月には市民の投票が開始され、わずか1週間で81万人の投票がありました。

もっとも支持率の高いスローガンは、「武漢、毎日変化しています」41%、続いて「大武漢、毎日違ってきます」は31%、「大江大湖大武漢」は28%でした。

ロゴマークは、1位46.2%、2位29.7%、3位24.1%でした。

「武漢、毎日変化しています」というスローガンは、革新、進歩、変化を求め続けている武漢市の現在と一致しています。これは武漢精神の根本であるともいえ、伝統を継承し、発展を促進し、将来を導く都市・武漢をうまく表現できていると言えます。

3500年前の商湯時代の湯王は、「昨日よりも今日、今日よりも明日と日々良くなるように行いを正していかなければならない」と自らを戒めていました。この言葉が現在の武漢にも活かされています。

ロゴマークは、中国の伝統的な印鑑で表現され、楚國が愛用していた紅色を基調とし濃淡をつけ、楚漢文化と中国伝統文化の味わいあふれるものとなっています。また、墨で書かれた「WUHAN CHINA」は国際化都市武漢市を表現しており、漢字と英語併記は国際都市武漢に最もふさわしいと評されています。

○武漢市の国際宣伝

今年の春、武漢のプロモーションビデオをアメリカ・ニューヨークのタイムズスクエアのスクリーンで放映しました。

また、武漢はグローバル宣伝計画を立て、世界に武漢の魅力をアピールしています。フランスのパリにある中国文化センターにも「武漢の窓」コーナーを開設し、積極的に武漢を宣伝することに注力しています。

武漢市政府は、武漢を中国の中部大都市から世界基準の国際大都市とするため努力しています。ぜひ武漢においていただき、武漢の毎日の変化をご自身で体験してみたいかがでしょうか。